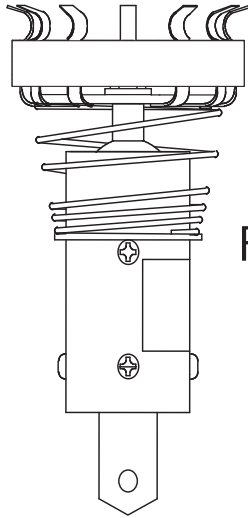


# 着脱器

## 取扱説明書



FZC016型

このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

**注意** ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、本文中に出てくる注意事項を注意深く読み、よく理解してご使用ください。

- この取扱説明書はいつでも使用できるところに保管してください。

**NOHMI**

## 1. 本書の表示

警告表示は、警告文と警告レベルを示す記号の組合せで表示されます。

### ■ 警告文

**注意** 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか、防災機能に悪影響を及ぼすおそれがあることを示しています。また、防災機能を長期にわたって有効に活用する上で、ぜひ守ってほしい事項を示しています。

### ■ 記号

**!** 警告・注意を促す内容があることを示しています。

**!** 行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

## 2. 使用上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。ご使用になる前に、以下注意事項をよくお読みください。

- (1) この商品は埋込、露出ベースから感知器を着脱させるためのもので、ベースの着脱はできません。
- (2) 必ず本書の使用方法に従って使用してください。

**注意** 適用感知器以外には使用しないでください。感知器の破損の原因となります。

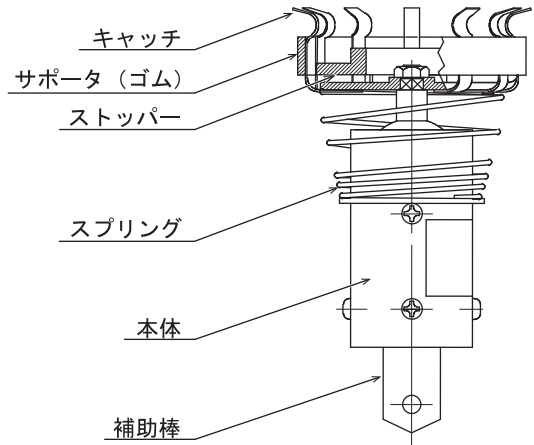
**注意** 着脱器を照明等の機材にぶつけないでください。機材を破損するおそれがあります。

**注意** 組み合わせられる支持棒は導体です。電力線には絶対に近付けないでください。感電のおそれがあります。

## 3. 商品の概要

- この商品は、感知器の取り付け、取り外しを行うためのものです。※使用できる感知器は表1の適用感知器（シリーズ）と作業可能な方向をご確認ください。
- FDK246シリーズ等では感知器の斜め（20°まで）からも作業が行えます。

## 4. 各部の名称



## 5. 保管上のご注意

- この商品は車内等、高温になるところに保管しないでください。変形等により機能を損なうおそれがあります。
- この商品は必ず正規レザーケースに入れ、外力が加わらないように保管してください。外力が加わると変形等により機能を損なうおそれがあります。

**注意** 保管は必ず正規レザーケースに入れ、外力が加わらないように行ってください。変形等により機能を損なうおそれがあります。

## 6. 適用感知器

- 当商品は感知器の種類によって、作業可能な方向が異なります。

表1 適用感知器（シリーズ）と作業可能な方向

種類	作業可能な方向（図1参照）	
	$\theta : 0^\circ$ (垂直) ~ 20°	$\theta : 0^\circ$ (垂直)のみ
FD S	226/240	
FD K	226/227/229/233	228
	236/240/246	030/039
	031/032/038	
FDK J	201/203/217/219	211/224/231/232
	225/227/230/236	254S/257N
	251R/253S/255G/256N	023/028/052R
	008/015/020/027/051R	
	803/817	

※ 各感知器に対応した露出、埋込型ベースに適用されます。

※ 上表以外の感知器への適用については当社にご確認ください。

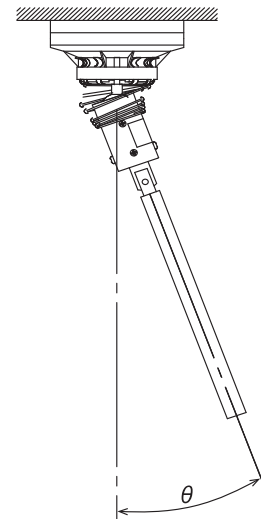


図1 作業可能な方向

**注意** 適用感知器と作業可能な方向にしたがい使用してください。通電不良により感知器が正常に作動しないおそれがあります。また、感知器が落下して破損やけがをすおそれがあります。

## 7. 使用方法

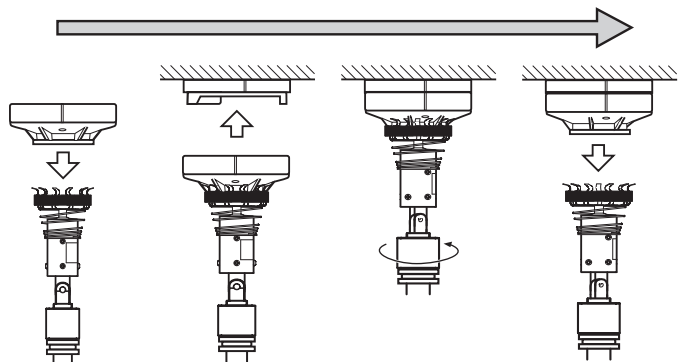
### 1. 感知器の取り付け

- 手元にて着脱器のキャッチを感知器に合わせて押し込み、確実に感知器を保持します。
- 感知器取付高さに応じて、着脱器を支持棒に取り付けます。
- 感知器をベースに挿入し、着脱器（支持棒）を右方向（時計方向）に回転させ装着します。

※ 感知器の確認灯を天井のベースの確認灯目印（|印）に合うように、着脱器（支持棒）を右（時計方向）に静止するまで回転させます。

- 着脱器を下方に静かに引き抜いて感知器より取り外します。

### 感知器取り付け方法



感知器を着脱器のキャッチに合わせて挿入します。感知器をベースに挿入します。支持棒を右方向に回転させ感知器をベースに装着します。支持棒を下方に引き感知器から着脱器を外します。

※防塵カバー、防塵カバーが付いた感知器の「取り付け」は行えません。

### 2. 感知器の取り外し

- 着脱器のキャッチを感知器に合わせて下方から押し込みます。  
※作業可能な方向に注意
- 着脱器が感知器を確実につかんだことを確認してください。
- 着脱器（支持棒）を左方向（反時計方向）に回転させ感知器をベースより取り外します。
- そのまま静かに感知器を手元に引き寄せて着脱器から取り外します。

**注意** 感知器を保持しているときは支持棒の先を振らないでください。感知器が着脱器より外れて落ちてけがをするおそれがあります。

**注意** 着脱器に無理な力を加えないでください。キャッチが変形して感知器を正しく保持できなくなります。変形した場合は、内径がφ49mm（図2参照）になるように修正してください。

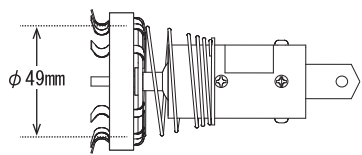
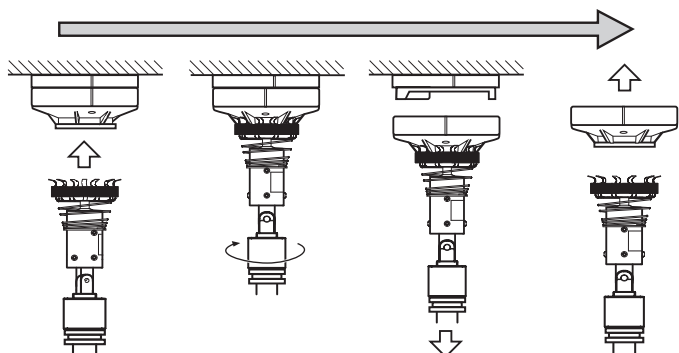


図2 キャッチの内径

### 感知器取り外し方法

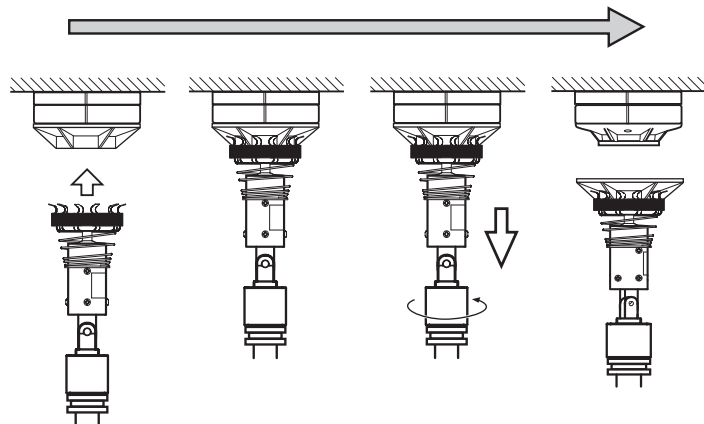


着脱器のキャッチを感知器に装着します。支持棒を左方向に回転させ感知器をベースから取り外します。支持棒を下に下ろします。感知器を着脱器から取り外します。

### 3. 防塵カバーの取り外し

各感知器に付属した防塵カバーを取り外す場合、一旦着脱器で押し込み、その後感知器の取付回転方向（右）に軽くひねりながら引いて取り外してください。

### 防塵カバー取り外し方法



感知器と着脱器のキャッチを合わせます。着脱器を押し込みます。感知器の取り付け方向（右）に軽くひねりながら引き抜きます。下方に向けて取り外します。

※防塵カバー、防塵カバーが付いた感知器の「取り付け」は行えません。

## 8. 仕様

種別	着脱器
型名	FZC016
主材	キャッチ：ステンレス 本体：アルミニウム 補助棒：アルミニウム
適用感知器	表1参照
付属品	ポリエチレンシート（着脱器梱包用） レザーケース（着脱器梱包用） 取扱説明書（本書）
適用支持棒（別売品）	ZERシリーズ（ZER-S3、ZER-L2A） ZERJ001シリーズ（ZERJ001-15、ZERJ001-45、ZERJ001-60） ZERJ002シリーズ（ZERJ002-15、ZERJ002-45、ZERJ002-60） ※ZERJ001/002シリーズの支持棒に取り付ける場合下記の支持棒アダプタが必要になります。
支持棒アダプタ（別売品）	ZEAJ001
質量	約 170g

●この商品の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

**NOHMI 能美防災株式会社**

【本社】〒102-8277 東京都千代田区九段南4丁目7番3号  
TEL. (03) 3265-0211(大代表)

【支社】北海道(011)746-6911 東北(022)221-2695 新潟(025)243-8121  
丸の内(03)3213-1781 茨城(029)239-5280 千葉(043)266-0303  
北関東(048)669-2255 西関東(042)643-1520 横浜(045)682-4700  
静岡(054)340-0013 中部(052)589-3241 長野(026)227-5521  
北陸(076)252-6211 関西(06)6330-8661 京都(075)694-1192  
中国(082)510-1125 岡山(086)244-4222 九州(092)712-1560

URL <https://www.nohmi.co.jp/>

記載内容は2023年12月現在のものです